

様式1

木 材 及 び 木 材 加 工 資 材 の 使 用 状 況 報 告 書 （ 記 載 例 ）

〇 〇 総 合 振 興 局 長 様

工事番号

1234

令和 年 月 日
〇〇町〇〇番地
(株)〇〇建設工業

受注者 住 所

氏 名 代表取締役 〇〇 〇〇

下記の工事が完成しましたので、次のとおり木材等の使用状況を報告します。

工 事 名 経営体 〇〇地区 〇〇工区

1. 木材及び木材加工資材の使用状況

木材使用工種 (用途)	樹 種	木 材 使 用 区 分 及 び 使 用 数 量																		備 考
		丸 太				製 材 (m3)		集 成 材 (m3)		C L T (m3)		型枠用合板 (m3)		その他合板 (m3)		チ ッ プ (m3)		そ の 他 (m3)		
		全体		うち道産材		全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材			
		(本)	(m3)	(本)	(m3)															
暗渠排水（疎水材）	カラマツ															60	40			
用水路（基礎杭）	カラマツ	100	20	0																末口12～16cm、L=2.5～7.2m
//	トドマツ	700	100	500	80															末口12～16cm、L=2.5～7.2m
排水路（柵）	カラマツ											40	20							
準備工	トドマツ					2	2													

- 記 載 要 領 1 木材及び木材加工資材を使用した工種（用途）毎、樹種毎に、それぞれ木材使用区分及び使用数量欄に記入すること。
- 2 木材使用工種（用途）の欄には、具体的に記入してください。
- 記入例：水路工（基礎杭、梯子胴木、敷板等）、暗渠工（疎水材）、鳥獣被害防止柵（防鹿柵等の支柱）、土留工、柵工、型枠（残存型枠等）、標識工、建築物等
- 3 樹種の欄には、該当工種で使用したカラマツ、トドマツ、スギ、その他針葉樹、広葉樹等の木材の樹種を記入すること。
- 4 使用数量は小数点以下を四捨五入して整数で記入すること。
- 5 製材には、押角、太鼓落、半割等を含む。
- 6 木材区分・使用数量の「その他」欄には、他の項目に該当しない場合の木材数量を記入する。（備考欄にその内容を必ず記入すること）
- 7 基礎杭については、使用数量単位を「本」と「m3」の両方で記入すること。なお、備考欄に使用した規格（規格ごとの分類は不要）を記載すること。
- (注) 1 この報告書は、工事完成通知書に添えて提出すること。
- 2 木材等の使用のない場合もその旨を報告すること。